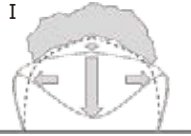
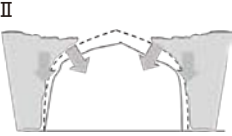
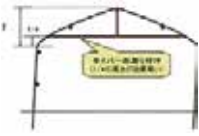

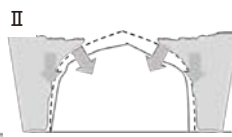
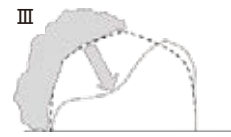
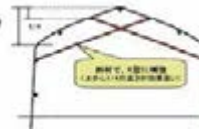

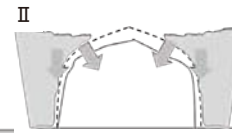



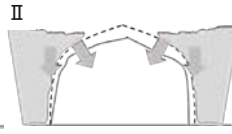
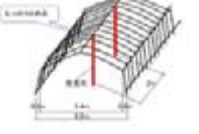


(2) 施設補強に必要な経費

生産者ができる簡易な補強

	被害パターン	補強方法	設置コスト (1棟当たり) *1
自家施工	 	①タイバー (逆T型)	 134,000円
	  	②クロス (X型)	 102,000円
	  	③筋交い	 16,000～ 44,000円
	 	④中柱	 53,000～ 66,000円

ポイント！

第1章 まず、行うこと

(2) まず行う構造強化 参照

P. 15

●降雪前のチェックシート

項目	チェック項目(点検のポイント)	チェック欄
情報収集	1 最新の気象情報、警報、注意報を常にチェック	
	2 暖房機の燃油残量は充分にありますか	
融雪準備	3 暖房機は正常に作動するか確認しましたか	
	4 (発電機を持っている場合) 非常用発電機を加温機、環境制御装置に接続しましたか	
	5 融雪効果を高めるため、ハウス横に融雪溝を整備する	
補強対策・雪の滑落促進	6 ブレースや筋交いの留め金具に緩みがないか点検しましたか	
	7 基礎部、接続部分、谷の樋・柱に腐食・サビはありませんか	
	8 谷樋や排水路、ハウスの際などの残雪やゴミは取り除きましたか	
	9 準備していた中柱を立てるなど応急的な補強はしましたか	
	10 作物を栽培していないハウスは被覆資材を外しましたか	
	11 被覆材の表面に雪の滑落を妨げるような突出物はありませんか	
12 雪の滑落を妨げる防風ネットや外部遮光資材等が展張されていませんか。		

(ハウスの耐雪強度を大きく上回る積雪が予想される場合の対応)
最新の気象情報による積雪深がハウスの耐雪強度を大きく上回る場合は被覆資材を切断除去することで施設への積雪を防ぐ。

●降雪時のチェックシート

項目	チェック項目(点検のポイント)	チェック欄
融雪	13 (暖房装置がある場合) 内張りカーテンを開放して暖房し、屋根雪を滑落しやすくしてありますか	
	14 (暖房装置がない場合) 内部を密閉し気密性を高めて室温を上昇させていますか	
	15 散水による融雪では、ハウス側面に積もった雪に散水してありますか	
	16 ビニールの緩んだ部分や天窓の積雪は早めに除雪できていますか	
切断除去	17 除雪・融雪が追い付かず、最新の気象情報による積雪予想がハウスの耐雪強度を上回る場合、事前にビニールを切除	
	18 ビニールを切除する場合、ハウスの奥から両側均等に破るようにする	
	19 積雪が多すぎて危険と判断される場合はハウス内に入らない	
積雪後の対策	20 除雪の順番の確認 順番は①ハウス肩部、②屋根部、③サイド部の順で行う	
	21 屋根部まで積雪した場合、重みが偏らないようにハウス両側を均等に除雪する	
	22 ビニールを除去してあるハウスでも、積雪による沈降圧で変形破損することがある。アーチパイプを早めに掘り出すようにする	

(3) 気象情報

過去の事例では、大雪警報発令下での降雪でパイプハウス倒壊の被害がでています。

○警報とは、**重大な災害が起こるおそれ**のあるときに警戒を呼びかけて行う予報
京都府内では下表の基準に基づき京都地方気象台が発表する。

警報発表基準

(大阪管区気象台管内)

平成30年5月30日現在

発表官署	京都地方気象台						
府県予報区	京都府						
一次細分区域	南部				北部		
市町村等をまとめた地域	京都・亀岡	南丹・京丹波	山城中部	山城南部	丹後	舞鶴・綾部	福知山
暴風雪(平均風速)	20 m/s 雪を伴う				陸上 20 m/s、海上 25 m/s 雪を伴う		20 m/s 雪を伴う
警報 大雪	平地 24時間降雪の深さ 15cm 山地 24時間降雪の深さ 60cm	24時間降雪の深さ 60cm	24時間降雪の深さ 15cm		平地 24時間降雪の深さ 40cm 山地 24時間降雪の深さ 60cm		

大雪などの気象災害に対しては、迅速で正確な情報収集が重要です。

ポイント!

第5章 台風を知る 被害から学ぶ

(4) 気象情報の入手

P. 38

(4) ビニールフィルム切断に関する事例

<ビニールを切断、倒壊回避のポイント>

【対策の事例】

- ・ハウスの上に50cm雪が積もり、陸揚げを吊っているフックから陸揚げパイプが外れ始めるくらいに天井が沈んだタイミングでビニールを切断



ビニールは雪が落としやすいよう、コの字に切る。棒の先にガムテープで固定した鎌でビニールを切る

(生産者の声)

- ・1棟おきにサイドを巻き上げておき、ハウス間に溜まった雪をハウス内に逃していたが、次の日には一気にハウスの上に積雪があったため、サイドを開けておいたハウス（雪が落ちにくい）から順に、ビニールを切った。
- ・ビニールはイボ竹の先に鎌を紐でモス日（さらにその上からガムテープで動かないように固定）ハウス内からビニールを切った。ハウスバンドが1スパンおきに張られているので、ハウスバンドのない場所から、パイプに添うように鎌を入れ、コの字に切り、雪をハウス内に落としていった。

石川県 雪害対策マニュアルより

ビニールの切断除去による倒壊回避事例

- ・ビニールを破るときは、カッターなどで四角く破る。
- ・破った後でも、低温の時は残ったビニールやパイプに着雪し湾曲するので、雪を落とす。

【農業者のコメント】

- ・棒の先にカッターを取り付けて実施するが、落ちてくる雪に注意する。
- ・パイプにも雪が残りやすくなるので、尾根までのビニールを破るようにする。



福井県 雪害対策マニュアルより